



善誘館小

校長室だより第1号

文責 善誘館小
校長 弦間 文

校長室だよりは「そうぞう」です

今年度、甲府市立伊勢小学校から赴任して参りました、校長の弦間 文(げんま あや)と申します。1年間どうぞ宜しくお願い致します。新年度が始まって2週間が過ぎ、子どもたちは年度当初の慌たしさも一段落し、新年度の興奮と緊張も少し落ち着き、阿智のままの姿も出せるようになり、充実した日々を過ごしています。授業参観や学年総会、PTA総会と種々ご協力をいただきありがとうございます。

今年度から新たに学校便り「善誘館」とあわせて校長室便りを発行することと致しました。タイトルは「そうぞう」です。「善誘館」は行事に関わることを中心に発行しますが、この「そうぞう」は、より深く校長としての想いや教育に対する考えを伝えるものになりたいと思います。

人間らしさとは・・・

始業式の日、子供たちに「みなさんは何のために学校に来ているのですか」と聞きました。私は子供たちには「将来みなさんが世の中に出たときに幸せになるためです。」という話をしました。小学校は、子供たちが将来「人」として幸せになるために「人を人らしくする基礎を築く」所であると考えています。人が人らしくなるために、人間としての能力を高めることが大切ですが、では人間が他の動物とは違う、人間だけが持つ能力とは何でしょうか。

それは「人間はこの地球上の生物の中で『想像』したことを『創造』していける唯一の生物であるということです。その二つの「そうぞう」によって文化を構築し、生活をよりよいものにしていくというのは、人間のみにも備った能力であると考えています。なぜ月に行けるようになったのか、それは「月に行きたい」と想ったからです。要するに夢を描いてその夢を実現できるのが人間であり、夢を描いてその夢の実現に向けて生きていくことこそ人間らしい生き方である、と思います。そこに人間としての教育の原点があると考えています。

2つの夢が必要

そこで夢というと「プロスポーツ選手になりたい。」「芸能人やアイドルになりたい」「医者になりたい。」等々、「何をしたいか、何の職業に就きたいか。」という夢を思い浮かべると思います。それらの夢は能力を高めたり身につけたりするのに大きなきっかけになります。当然それも大切な夢ですが、もう一つ持つべき大切な夢は「どういう人になりたいか。」という人間性を高めるための夢です。「優しい人になりたい。」「強い人になりたい」「人に喜びを与える人になりたい。」というような夢です。夢ですから漠然としていてよいと思います。

「どういう人か」が大切

大切なのはそうした人間性を高めるための夢を持つことです。それがなくては、自身に対する真の反省も、さまざまな体験を成長の糧とするためのプラス思考も生まれません。これは人生の中で年齢に関係なく一生持ち続けることができる夢です。その人が「どういう人か」という人間性が、その人の持つ能力を生かし、多くの人と関わり生きていく世の中で、人生を大きく左右していきます。ですから人として「何ができるか」、と同時にさらに「どういう人か」ということが大切だと思います。

この世の中、意外に「どういう人になりたいか」という人間性を高めるための夢をしっかりと持っていない人がいるものです。このGW中、ご家庭でも自身の夢と、子育てについて「どういう人に育ってほしいか」という夢を今一度、語り合ってみてはいかがでしょうか。

今年度一年間、善誘館小学校の子供たちがでっかい夢を描き、人間性(心)と能力(学力・体力)を高め、その実現に向けて努力する中で、すばらしい人生を築くための基礎を築いていける、そんな学校を夢に描いて教職員一同一丸となってチャレンジして参ります。

地域の未来は学校にある

地域の未来は地域の学校にある、と考えています。先日、学校の近所の方とお話をする機会がありました。学校の近所は、子どもの声も騒々しいですし、校地内の樹木の枯れ葉や砂が自宅の庭に張り込み、迷惑をおかけしています。そんなことを謝罪すると、「いいえ、いいえ、地域住民の義務ですから・・・」と朗らかに笑いながら返答してくださいました。胸が熱くなりました。善誘館小学校は、富士川地区、琢美地区、それぞれに歴史のある、地域の団結力に支えられている学校です。地域がしっかりしているということは、それだけ地域の方々の交流が盛んであるということです。さまざまな人と関わるからこそ自分を磨くことに繋がり、磨かれた方々によって「すばらしい常識や良識」という文化が生まれます。そうしたすばらしい精神文化の中で子供たちが育つことと、学校として質の高い教育をすることで、善誘館地区の未来はすばらしいものになると思います。子供たちがこの善誘館地区を愛し、より一層すばらしい地域へと切り開いていけるよう、将来どの分野であっても与えられた環境の中で、そこを切り開いていけるようなスケールの大きな人間育成をしなくてはならないと思います。子供たちの未来が明るくなることで、それぞれの家庭の未来を明るくし、それがこの富士川琢美地区の未来をすばらしいものにしていくものであると信じます。



それには我々教職員が、この地域の方々と子供たち一人一人をより一層心から愛することが第一だと考えています。愛するものの未来を考えない人はいませんから、教師としていっそう深く愛し、子どもたちと地域の未来を築く責任と情熱を持って強い信念のもと、取り組みたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

